

ベトナム官民合同委員会結果概要

日時: 2022年3月4日(金) 越時間 08:30-10:58、日本時間 10:30-12:58

場所: オンライン(teams)にて実施

越 職業教育訓練総局(DVET)、日 厚生労働省 SESPP 事務局

参加者数: 23人

政府(11): 越 職業教育訓練総局(DVET)、副総局長、職業能力開発局長を含め7人

日 厚生労働省 海外協力室長を含め4人

訓練校(8): HIVC(3名)、SHTP-TC(3名)、VLUTE(2名)計8名

有識者(1): SESPP 事務局技術顧問

事務局(3): JTB 霞が関事業部3人 (別途、日越通訳1人)

1. 今年度の成果(SESPP 事務局)

(1) 技能検定に加え、本年度より新たに技能競技大会セミナーを実施した。

(2) 技能検定

・機械製図(CAD 作業)(3 級 SET@HIVC、3 級 SAT/SET@SHTP-TC)

・機械検査(2 級 SAT@HIVC&@SHTP-TC、3 級 SET@SHTP-TC)

・旋盤(2 級@HIVC、ベトナム国家技能検定 Level3 として実施、3 級@VLUTE ベトナム国家技能検定 Level2 として実施)

(3) 技能競技大会セミナー

プラスチック金型(@VLUTE)、情報ネットワーク施工(@VLUTE)

※COVID-19 の影響により、研修は全てオンラインにて実施。

2. 次年度実施に向けた提案(厚生労働省)

(1) SESPP 事業の最終目標: 技能評価システム(技能競技大会・技能検定)を構築することより、技能労働者の育成及び能力向上を図る

(2) 技能競技大会・技能検定の目標

・技能競技大会・・・技能競技実施体制の強化、技能競技委員の評価能力のレベルアップ

・技能検定・・・SESPP 協力職種の状態検定化、2021 年事業のフォローアップ

(3) 2022 年度の事業実施案を提示

・技能競技大会・・・職種案: 情報ネットワーク施工、プラスチック金型

(情報ネットワーク施工は日本での研修とし、国内大会視察を含む)

専門家によるデモンストレーション・セミナー、技能競技委員の訓練、模擬協議の実施

・技能検定

2021 年度事業のフォローアップ: CAD 製図 3 級 SET/SAC、機械検査 2 級 SAT/SET/SAC

ベトナム国家検定化に必要な不足事項への協力(機械検査、シーケンス制御、CAD 製図)

3. 官民合同委員会での主な意見

(1) MoLISA と厚生労働省との覚書、予算措置について

・MoLISA と厚生労働省の間で SESPP 事業に関する覚書を交わしていないため、DVET は本事業を予算化することができない。覚書の締結をお願いしたい。(DVET・Truong 局長)

・MoLISA と厚生労働省は 2014 年 5 月 13 日に技能検定を含む労働分野及び社会福祉分野に係る協力覚書を締結している。協力期間は 5 年だが、自動延長なので、現在も有効と認識している。覚書の写しを後ほど共有する。(厚生労働省・内野海外協力交渉専門官)

(2) 覚書に基づくプロジェクトについて

- ・2014 年に締結した覚書確認後に、DVET としても本事業をベトナム側でもプロジェクト化したい。そのために様々な書類、手続きが必要になるが、協力を要請する。ベトナム側の計画を作成し共有する。(DVET・Huong 副総局長)
- ・中長期的な取組みに関しては、ベトナム側から中長期的な計画提案を頂ければ、検討する。日本とベトナムの会計年度の開始月が違うので、正確に合わせることは難しいが、予め計画を提出して欲しい。(厚生労働省・内野海外協力交渉専門官)

(3) 相互認証について

- ・SESPP 事業で支援を受けた職種に関して、ベトナムでの評価センターで認定された合格者が、日本の技能検定と同レベルの技能を有していることを認証してほしい。日本とベトナムの国家技能検定の相互認証を実現したい。(DVET・Truong 局長)
- ・日本の法律(職業能力開発促進法)では、技能検定は、自治体(都道府県)や厚生労働大臣が認定した非営利の団体等が実施することと規定している。よって、日本国外の団体を実施主体として認定すること、相互認証を認めることは法律上困難である。国家技能検定の合格者が技能を有しているということを、日系企業に限らずベトナムの企業においても認知させていくのは、DVET の仕事であると認識している。(厚生労働省・内野海外協力交渉専門官)

(4) 認証センターのレベルアップへの支援について

- ・認証センターのレベルアップに向けての支援を希望する。具体的には技術的支援が有効と考える。日本の技能検定の運営方法や運営の際に留意している点、技能検定制度に関する法令等も共有いただきたい。(DVET・Truong 局長)

(5) ベトナムのアクションプランについて

- ・Skilling Up Vietnam 2030・・・次世代向け人材育成
- ・Skills Qualification Net Vietnam・・・オンラインでの技能(越韓プロジェクト)

(6) 各訓練校からの発言

- ・南部地域において日本の技能検定基準を満たしている評価センターとして日系企業にアピールし、更なる設備・機械投資を促進したい。評価者の育成、試験運営の方法、その他ノウハウの共有を希望。今後の希望職種:クラウドコンピューティング、アプリソフト開発、産業機械設計。(VLUTE・Ky 副学長)
- ・SESPP 事業の支援をより効果的にホーチミン市や近隣地域の日系企業へアピールすることを目的に、パイロット事業を実施したい。また、すでに実施した職種以外の職種を追加して欲しい。シーケンス制御・CAD 製図を日本の技能検定基準を満たす評価センターとして認可されることを目指す。(SHTP-TC・Hui 所長)
- ・2022 年度は SET の回数を増やしてほしい。受検者が増えることは、有益で有り事業の波及効果を期待できる。(HIVC・Quyet 氏)

4. まとめ

- ・ 日本側の2022年度事業提案に賛同する。予算を確保したいと思うが、プロジェクトとして立案しないと予算要求は難しい。事業の継続性、成果、今後の計画や方向性も必要になってくる。SESPP 事業の継続については、日本側提案とベトナム側計画を調整していきたい。問題集・認定評価者・検定合格者を認証することを検討したい。(DVET・Huong 副総局長)
- ・ ベトナム側から、予算差措置、相互認証、日系企業へのアピール等様々な要望があり、この事業への期待の高さを感じた。また、Huong 副総局長から、この事業による支援を国家検定に結びつけるため注力したいとの話があったが、是非その方向で取り組みをお願いしたい。人材育成に向けて Skilling Up Vietnam 2030 を策定したとの話があったが SESPP 事業との連携も視野に取り組んでいきたい。Huong 副総局長からご提案のあったプロジェクトについては、日本側としてどのような協力ができるか検討していきたい。
(厚生労働省・土井海外協力室長)